

新潟県長岡市川口田麦山

あれから8年、被災経験から伝えたいこと!!

第7回 JNC現地会議in宮城『復興街づくりを考える』
～人が集まり・つながり・元気になる地域づくり～



「東日本大震災」緊急消防援助隊

第9次新潟県隊(被災地:石巻市)

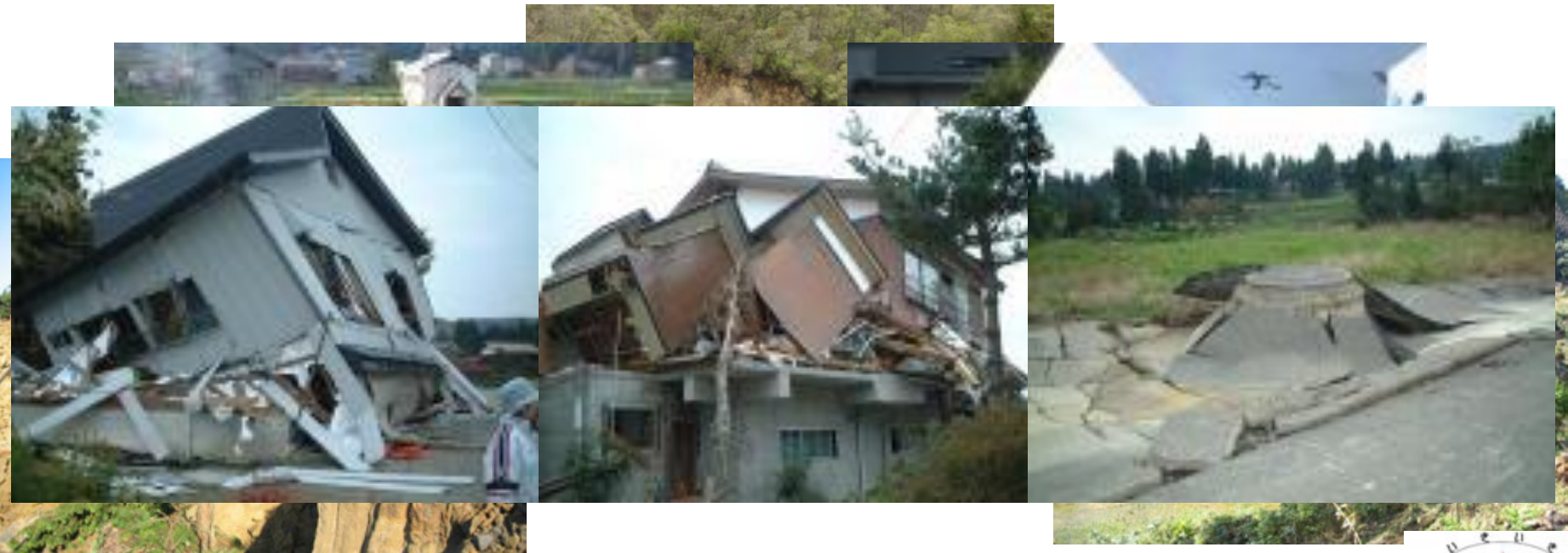






田麦山での地震

- 地区全体戸数の9割以上が全壊(大規模半壊)
- 全住民が一時避難
- 地震の規模に比し人的被害(死亡)ゼロ
- 中山間農地に被害(陥没・崩落)



当時の被災地における地区民の心

- 団結力

- ・地区民一体となり、この危機を乗り越えるという気持ち

- 人の温かさ

- ・全国各地からの声援・支援
 - ・ボランティアとのかかわり

- 地域の素晴らしさ

- ・地震前、ネガティブ



地震後、ポジティブ



当たり前だったことが!?

いままでの便利さにあぐらをかいていた!



地震後の出会い



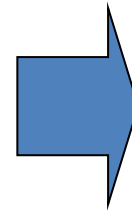
地震後改めて感じたこと

- 地震で一番ダメージを受けたのは誰？
- まず何をすべきか？
- これからの田麦山は？



そして思ったこと

- 田麦山らしさを取り戻すこと
 - 生活習慣を尊重
 - 田麦山をもっと知るべき
 - 先人から学ぶ
 - 生き甲斐
- 未来を見据えた取り組み
 - 現況に眼を背けず
 - 新たな挑戦



次世代の役目！



取り組み

- いきいき田麦山開設
 - 田麦山の復興
 - 田麦山の未来予想図(コンセプト)
- 農事組合法人「ファーム田麦山」設立
 - 地震による農業被災からの復興
 - 個人による従来型農業からの脱皮
 - 高齢農業従事者の受け皿
 - 農地の確保
 - 平成19年度政策



農事組合法人「ファーム田麦山」

• 経緯

- ・当初、3戸で共同作業所建設を考える(平成17年3月～)



地震からの復旧が目的(経費＋作業効率考慮)

- ・役所(川口役場)・JAから法人化について打診される(平成17年7月)



19年度政策を考慮

- ・発起人5名による農事組合法人立ち上げ活動開始(平成17年9月～)



地域にアナウンス

• 設立総会

- ・平成18年1月22日設立総会
- ・参加戸数23戸
- ・水田面積約100a(1町=10反)



地元紙取材(新潟日報社 4/25)



私達の復興のコンセプト

- 地域愛
- 自分達だけで頑張ろうとしない
- 気持ちの切り替え（地域全体で）



ピンチをチャンスに！

※ 「ファーム田麦山」

中山間地域での農事組合法人としてのモデル
地域の特性を生かした組織作り。「田麦山らしい」

「元気があれば何でも出来る!!」



取り組み方(構図)

第三者



取り組み

- ブナ林コンサート(H18～)
いきいき田麦山



地区の祭りを盛り上げる為に涼み茶屋をオープン



- 田麦山雪まつり



- 他団体とのコラボ
 - ・より道大学(テーマ:雪)



- 第17回全国ボランティアフェスティバル(in新潟)



- 各被災地へのボランティア活動
 - ・ 中越沖地震、能登沖地震、岩手宮城内陸地震



能登沖地震仮設住宅説明会にて

被災者(刈羽村)
川口よってげてい招待



- 夢づくり交流会(川口の各団体)



中越大震災の記憶



田麦山の自然

田麦山八景

相川川

岡平丘陵地

山ノ根川

田中峠のブナ林

田麦山集落(ムラ)

大形峠、田中峠

田麦山八景(地域おこし委員会)



旧小学校教務室を茶の間に ↓

たんぎゃま
ちやのま





復興後の課題等

- 月日の経過による地区民の無関心
 - 活性化団体中心
- 既存建築物の維持管理
 - 旧小学校等
- 次世代への継承
- 過疎化と少子高齢化



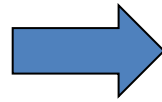
まとめ

- 「〇〇らしさ」を取り戻すことが大切
 - 今までの生活習慣を尊重
 - 地域をもっと知ろう！(歴史・成り立ち)
 - 先人たちから学ぶ(意見等)
 - 生き甲斐
- 未来を見据えた取り組み
 - 今の現状から目を背けない
 - 新たな挑戦

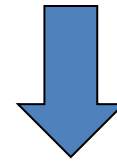


活動の構図

- ・ 地域で歩く
- ・ 地域の特徴



主体性



《活動について》

- ・ 我々は素人
- ・ 怖いもの知らず
- ・ 当たって砕けろ
- ・ まずはやってみて
- ・ 物、金ではなく

中央へアピール

つまり

※行政を動かす!!

- 何よりも自分たちが楽しむことができる。
- 人と人とのつながり(信頼関係)
- 挑戦!!
- 融合

ピンチをチャンスに!!



がんばるー日本

がんばるー東北！！

